

◇ 教育情報 ◇

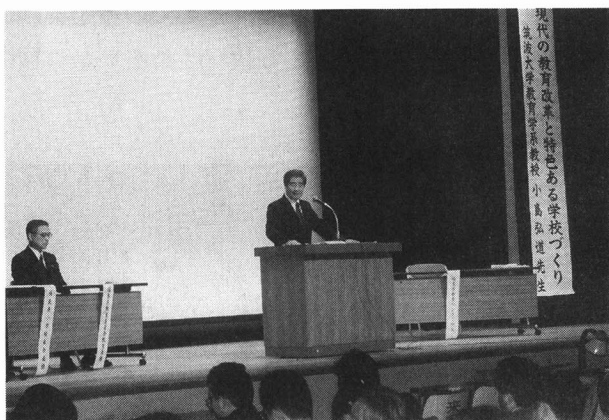
平成12年度「福島県教育研究発表大会」

平成13年2月9日（金）、福島県文化センター及び福島市市民会館を会場にして、「平成12年度福島県教育研究発表大会」が開催されました。

高城俊春福島県教育委員会教育長をはじめ、大和田紀男福島県小学校長会長、斎藤和也福島県高等学校長協会長のご臨席をいただき、開会行事を行いました。

午前の全体会では、「現代の教育改革と特色ある学校づくり」と題して、筑波大学教育学系教授小島弘道先生の講演と小・中学校、高等学校それぞれの研究発表がありました。

午後は5つの分科会に分かれ、26の研究発表を行い、410名の参加者が熱心にそれぞれの発表に聴き入っていました。



〈主催者あいさつ〉



〈小島先生の講演〉

《 全体会の発表 》

会津若松市立鶴城小学校 渡部 伸幸 教諭

「総合的な学習の時間」で身に付けさせたい資質や能力を、各学年ごとに具体的に設定し、それらが、各教科・領域との相互補完の関係で培っていくことを重視していること、また、市のシンボルでもある「鶴ヶ城」を学習材として、地域をみつめ、地域の人々と関わりを深める学習を大切にしていることなどの研究成果の紹介がありました。



郡山市立郡山第一中学校 吉井 史之 教諭

生徒一人一人に生きる力をはぐくむために、各学年の生徒の個性や能力等の実態をアンケート等で把握し、目指す生徒像や教科研究の仮説、手だてをpushさえたこと、その上で、各学年ごとにテーマを設定し、横断的・総合的な学習を着実に実践して大きな成果を得たことの発表がありました。

